事業所名	ぎふと朝日ヶ丘　児童発達支援	支援プログラム	作成日	令和7 年	12 月	24 日

法人理念		朝日ヶ丘学園の法人理念は、子どもたちの健康な体、強い精神力と思いやりの心、豊かな情操を育むことにあります。また、企業主導型保育事業を通じて、待機児童の解消や仕事と子育ての両立支援に貢献することを目指しています。子ども中心の保育を重視し、保護者や地域の皆様と共に幸せな未来を築くことを目指しています。
支援方針		いろいろな活動を楽しみながら、小さな「できた」を積み重ねていき、子どもたちの自信に繋げます。 また、子どもの自立心や社会性、ルールやマナー、礼儀作法等も学んでいく中で、今後の園生活や社会生活に繋がるような支援を行っていきます。 幼児期の発達支援に重要な「自己肯定感」「達成感」「仲間形成」を育み、安心して過ごせる居場所づくりを通して「孤立の防止」を実現していきます。
営業時間		幼稚園保育日　9 時　00 分から 17 時 30 分まで 幼稚園休園日　9 時　00 分から 16 時 00 分まで 送迎実施の有無：(あり)　なし　法人内企業型保育所のみ送迎有
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	来所時には、視診・触診・検温などを行い、健康把握に努めます。また、毎日の清掃と消毒を行い、健康管理を行います。 ご家族や関係機関と連携を図り、日々の体調の変化を把握することで状況に応じた対応を行います。 持ち物の整理や排泄、着替えなどの生活に必要な行動の見通しが持てるような環境を整えます。 自分の意思を表出できる機会を提供し、考え、伝える力を身に付けられるように環境を整えます。 登園時に会話や自由遊びを楽しみながら表情や様子を確認し、生活リズムの安定・健康状態の把握を行いながら、無理なく安心して活動を楽しめるよう配慮していきます。 活動の時間が楽しみな時間になるように、気持ちを汲みながら興味のあること等を含めて身体をおもいきり動かすことを楽しめるように環境設定や活動内容を工夫していきます。
	運動・感覚	運動は子どもたちにとって、集団の中で遊びに加わったり、興味の幅を広げたりするために欠かせないものであり、自己肯定感を養うことができる大切なものと考え下記の事項を考慮しつつ行っていきます。 ・運動の能力や動作の基本的技能の向上・身体的障害を考慮した動きの習得を図ります。 ・姿勢保持や日常の動きを可能にするための身体つくりを支援していきます。 ・活動の中で、待つ・動く等(静と動)の切り替えや他児と一緒の空間に慣れる・楽しむ等の適応を図っていきます。 ・おもいきり身体を動かす中で、楽しく発散ができる機会を提供します。 ・微細運動や粗大運動、感覚遊びを取り入れ、手指や身体の使い方、日常生活で必要な動作の獲得に繋げていきます。 ・子どもたちの意見を取り入れながらいろいろな運動遊びを通して、おもいきり身体を動かすことを楽しむ中で自然と体力や体幹、身体機能の向上を図れるように配慮していきます。 ・生活する上での苦手な感覚が少しずつでも軽減していくように、活動の中で多様な感覚を十分に活用できるようにします。 粉遊び、新聞紙遊び、感覚遊び等、おもいきり刺激（色・形・重さ・柔らかさなど）を楽しめる環境を取り入れていきます。
	認知・行動	小集団で指示を理解して行動することや周りに合わせて行動するといった場に応じた行動が少しずつ身に着けていけるように配慮し日常生活に繋げていきます。 子ども一人ひとりのつまづきや課題を共有したり話し合ったりする中で、必要に応じて個別でのかかわりを通して、アプローチしていきます。 子どもの興味関心に沿って様々な提案を行い、自己選択・自己決定ができるプロセスを経験できるようにしていきます。
	言語 コミュニケーション	自然と会話や相談ができる雰囲気作りや日頃のかかわり合いを大切にしながら安心して相談できる関係を築いていけるように配慮していきます。 個別の実態に応じてコミュニケーションを楽しめるように、ことばだけでなく身振りや指差し等それぞれの状況に合わせた意思の伝達ができるように配慮していきます。 小集団で他者とのかかわりの場面を提供し、相手の気持ちを理解したり自分の気持ちや考えを伝えたりできる環境を整えます。 周りや相手の事を考えながら、コミュニケーションが取れるように状況に応じて間に入りながら、他者と良好な関係が築けるように支援していきます。 言語に限らず、表情や仕草、全身運動など様々な手段を通して、自信を持って自らの思いをことばにしていけるように環境作りを行っていきます。
	人間関係 社会性	小集団でのルールのある遊び等を通して、他児に対する興味を高め、他者とかかわる楽しさを育んでいけるように環境設定を工夫していきます。 集団生活におけるルールやマナーを、個々の実態に合わせて理解度を確認しながら獲得に繋げていきます。 自分の意思を伝える場を設けることで、子どもの意思の尊重と気持ちの確認をしていきます。 話し合いや協力する活動を通して、自分の考えや気持ちをいろいろな方法で伝えたり、相手の存在を認め相手にも思いがあることに気づき、自分も相手も大切にできるように支援していきます。 思い通りにいかない場面や我慢しなければならない場面も経験しながら、気持ちを切り替えられたという肯定的な経験を積み重ねて、少しずつ気持ちの切り替え方を学んでいけるようにしていきます。
家族支援		必要に応じて相談援助を行います。 情報共有を丁寧に行い、保護者の困りごとについて一緒に考え協力しながら困りごとの解決に繋げていけるようにしていきます。 保護者同士の交流の機会の提供を考えていきます。 必要に応じて兄弟に対する相談援助を行っていきます。
移行支援		必要に応じて、保育園、幼稚園でのお子さんの様子を見学したり、支援方針等について、情報共有を丁寧に行っていく。
地域支援・地域連携		相談支援事業所や障害福祉サービス事業所と連携して支援していきます。 通園先や併行利用先との情報共有を丁寧に行っていきます。
職員の質の向上		日々の活動後の振り返りを通して、丁寧な情報共有や困り感、思いの共有を行い、支援の方向性を皆で考えていく中で支援の質の向上を目指していきます。 積極的な外部研修への参加や内部研修の実施を行っていきます。
主な行事等		学園全体でいろいろな行事を実施しています。